

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (東広島市立西条小学校)

- ① 教科等 理科 ② 学年 第5学年
- ③ 単元名 流れる水の働き
- ④ 本時の目標 自分の立てた仮説と実験結果を比較しながら、流れる水の働きである浸食や運搬、堆積について考え、説明することができる。
- ⑤ 学習の流れ (4時間目/全11時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
<p>1 学習問題を確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">流れる水には、どのようなはたらきがあるのだろうか。</p> <p>2 自分の立てた仮説とその理由を振り返る。</p> <p>3 実験方法を確認し、実験する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;"> <p>○ 浸食を調べる方法…曲がっているところの内側と外側に旗を立てる。</p> <p>○ 運搬・堆積を調べる方法…色砂を流す。</p> <p>○ 水の速さを調べる方法…発泡ビーズを流す。</p> </div>	<p>・前時に立てた学習問題に興味をもたせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: x-small;"> <p>児童の仮説</p> <p>・土に水を流すならば、土はけずられて、運ばれて、積もるだろう。そのわけは、最初の授業で下流に行く程、川の横幅が少しずつ広がっている映像を見た。その映像から、川の水の流れは、川の両端にある砂や小石を削って広げていったためだと考えたからだ。</p> </div> <p>・自分の立てた仮説とその理由を振り返り、実験の目的意識をもたせる。</p> <p>・観察の視点として次の3点を意識させる。</p> <p>①内側と外側の旗の様子</p> <p>②色砂の移動</p> <p>③発泡ビーズの移動の速さ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: x-small;"> <p>法</p> <p>①箱の中に土を入れる。</p> <p>②水をホースで少し流す。</p> <p>③旗を曲がったところの外側(内側)に置く。</p> <p>④色砂を流して運ばれるか見る。</p> <p>⑤発泡ビーズを流して速さを見る。</p> </div>	

「言語活動の充実」

設定した言語活動を通して育てたい力

- 自分の立てた仮説と実験結果を比較しながら、流れる水の働きである浸食や運搬、堆積について考え説明することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 実験への目的意識をもたせるために、実験をする前に自分の立てた仮説を振り返らせる。
- 実験をするときに何に注目して観察すればよいのか、観察の視点を図と言葉で伝える。
- 考察の書き方、発表の仕方について図で示したり指示したりする。
- 自分の考えと比べながら友達の見解を聞くよう指示し、話し合いの後、自分の考えを振り返らせる。